

災害に備える

自主防災体験研修会を実施

自主防災組織や自主防災組織未設立の町内会の役員、民生委員などを対象とした自主防災体験研修会が県主催で5月20日(金)に役場大会議室にて開催されました。

この研修会は、防災に係る基礎知識の習得や今後の防災活動の参考となる事項の確認、防災まちあるき方法の習得などを目的として行われました。

講師として山口大学大学院創成科学研究科の瀧本浩一准教授と同科の防災システム工学研究室アドバイザー岩本憲治さんが訪れ、参加者たちは自主防災組織の役割と活動に関する講演と災害図上演習(DIG)を受講しました。

講演では、自主防災組織にはどのような役割があるのかなど今後行っていくべきことを学びました。また、災害図上演習(DIG)では地区ごとのグループに分かれ、実際に自分たちが住んでいる地区の地図を使い、どのような災害に注意するべきか考えました。

町長は「今回の研修を通じて、自分たちが住む地域は災害が起きた際にどのような状態になるのか考え、どういう行動をするべきなのかイメージをつかんでほしい」と話しました。

自主防災組織を設立したい、もしくは考えているという人はお気軽に総務課消防防災係までお問合せください。



地域住民と在住外国人のつながりを作る 異文化理解交流イベント開催!



町の技能実習生の多くがベトナム出身であることから、ベトナムとの交流を積極的に行っている弘前のよさこいチーム「^{はなあらし}桜組」を媒介とし、ベトナムの文化への理解を深め、地域住民と在住外国人とのつながりを作ることを目的とした異文化理解交流イベントが5月29日(日)にパルナスホールにて行われました。

この日は技能実習生16名を含めた約90名が参加し、よさこい演舞の鑑賞やミニゲームなどで交流しました。

また、地域おこし協力隊の^{かくばりはるな}覚張日菜さんと技能実習生の代表4名がベトナムの文化や風景を紹介し、地域住民はベトナムへの

理解を深めました。

次回の交流型日本語教室は、6月17日(金)に行われる予定です。

